



2026.3.26

北高SSHニュース

Vol. 378

令和7年度 熊本北高校ハイブリッド型SSH成果発表会 開催！

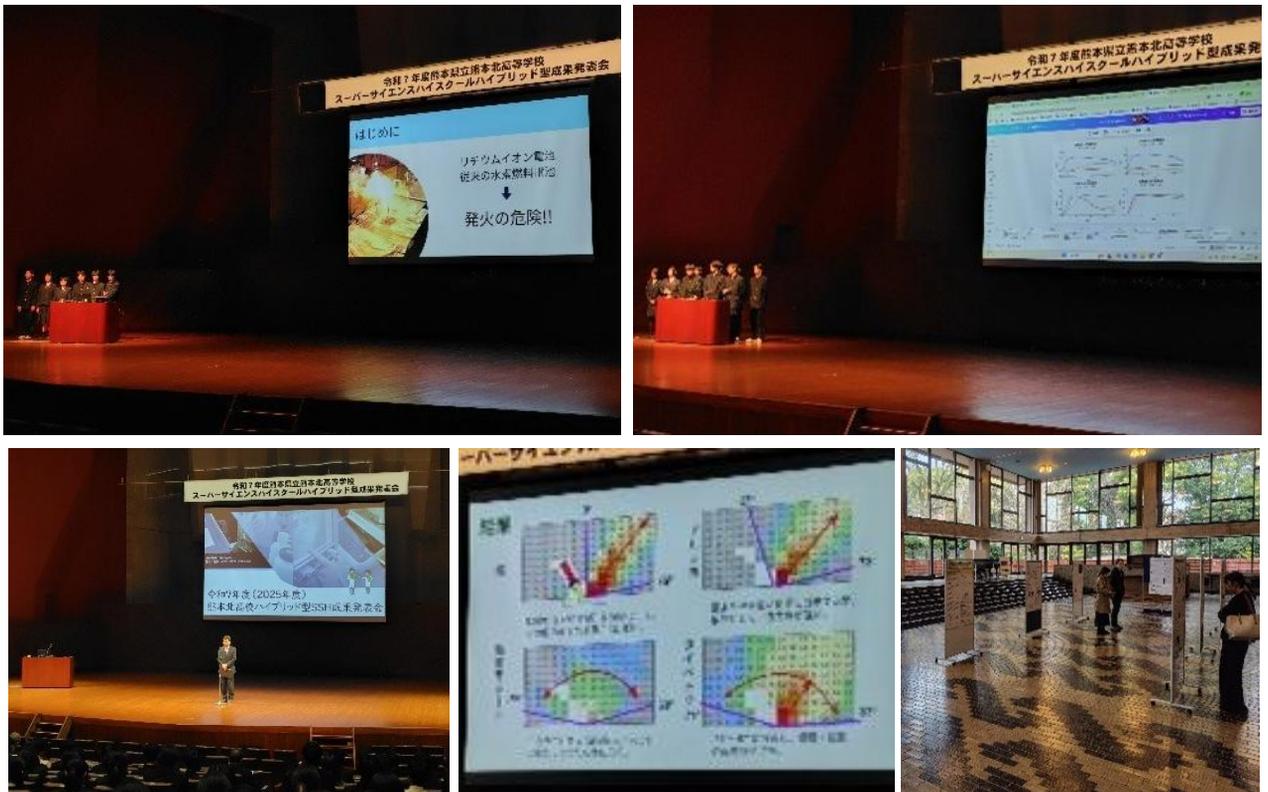


図1 発表会の様子

3月18日(水)、熊本県立劇場にて熊本北高校ハイブリッド型SSH成果発表会を行いました(図1)。卒業生講演では、パナソニックエナジー株式会社にご勤務の33期生 衛藤愛羅様から「高校時代に実践して、大学や社会人で役立つこと」をテーマに、高校時代の取り組みが大学で取り組んだことや現在の仕事にどのように生きているのかについて御講演いただきました。発表では

各分野の代表班が、これまでの取り組みや探究活動の成果を発表しました。質疑応答ではSSH運営指導委員の先生方の質問とともに生徒からの質問も出ていました。今年度は会場前ホールに課題研究等で作成したポスターを掲示しました。審査の結果、自然科学部化学班が最優秀賞に選ばれました。化学班は、「令和8年度SSH生徒発表会」に学校代表として出場します。

発表テーマ一覧

- 【ARI】AIで学校全体の二酸化炭素排出量の推定・予測可視化による行動改善
- 【URI】温度お知らせプレート
- 【GRI】AMAKUSA
- 【GRII】How can we improve English education in Japanese high school? ~By using parliamentary Debate (Kumamotokita style)
- 【URII化学班】プルシアンブルーによるアンモニア吸着簡易測定装置の開発
- 【URII生活科学班】生分解性の高い弁当カップ
- 【ARI】水素生産菌を用いた水素燃料電池の作成
- 🌟【自然科学部化学班】グルコース型自作燃料電池の作製
- 【自然科学部物理班】光の拡散による光合成効率化の可能性

SSH特別講演会を行いました 「熊本県立大学における 半導体関連人材育成について」

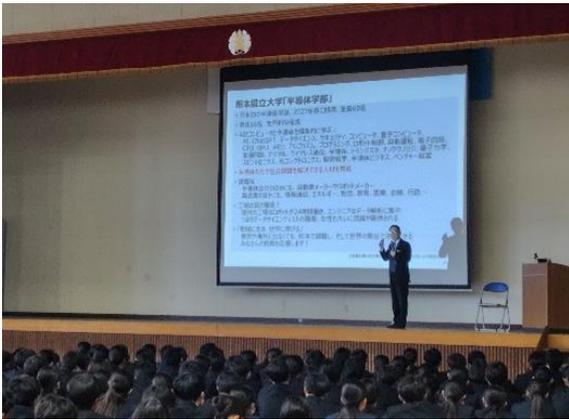


図2 講演会の様子

2月20日(金)に熊本県立大学理事長 黒田忠広様をお招きし、SSH特別講演会を行いました(図2)。黒田様は、米国電気電子学会と電子情報通信学会のフェロー、半導体のオリンピックと称される国際会議ISSCCで60年間に最も多くの論文を発表した世界の研究者

10人に選ばれるなど、半導体研究において第一人者として活躍されています。2027年度開設予定の熊本県立大学半導体学部の紹介と、半導体についての過去、現在、未来について様々な視点からお話されました。講演の中で近い将来、汎用

的なAIが身近なものになるときに、人の役割として「社会課題の発見」「汎用人工知能への的確な指示」「最終的な意志決定」が重要であると話されました。難解な内容も分かりやすく話され、生徒たちも興味を持ちながら聞いていました。

シンガポールSST校と姉妹校協定を締結

シンガポールにあるSST (School of Science and Technology) という学校と本校は、2015年より(コロナ禍の中断期間を除き)、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)活動や英語科の修学旅行などを通じて長年交流を続けてきました。この度、これまでの厚い信頼関係と交流の歴史を背景に、同校と正式に姉妹校協定を締結しました。去る1月、英語科の修学旅行で同校を訪問した際に調印式を執り行いました(図3)。本協定は2027年から本格運用となります。今後はこれまでに以上に相互交流を活性化させ、国際理解とグローバルな視野を養う機会をいっそう広げていきます。



図3 姉妹校協定調印式の様子